

中学部 2年 職業・家庭科 学習指導案

日 時：令和6年7月18日（木）9：50～10：40

場 所：中学部多目的教室

指導者：首藤 将大（T1）作左部美帆（T2）

石垣 幸子（T3）江川 悠介（T4）

1 単元 やってみよう！接客の仕事①

2 生徒と単元

(1) 生徒について

本学年は男子6名、女子3名の9名である。全員が簡単な言葉での指示理解が可能である。また、発語で自分の意思を伝えることが困難な生徒が3名いるが、身振りや発声で自分の気持ちを伝えることができる。人との関わりでは、友達の失敗を責めたり、友達や教師の助言を素直に受け入れたりできないなど、課題が見られる。また、相手の気持ちや状況を考えて発言することが苦手だったり、自分の意見を強引に通そうとしたりすることがあるが、教師が気持ちを代弁したり、状況を伝えたりする支援を続けてきたことで、相手のことを思いやる気持ちが少しずつ育ってきた。全員で目標に向かって協力したり、人前で話したりすることを苦手としている生徒もいるが、事前に練習を繰り返すことで自信をもって取り組むことができるようになってきた。

(2) 単元について

生徒たちは「未来へのスケッチ」に「働いてお金を稼ぎたい」や「おいしいものが食べたい」、「お母さんのような役割をしたい」など、様々な思いや願いを記入し、日々の学校生活で目標達成に向けて取り組んでいる。その生徒たちの思いや願いを受け、生活単元学習ではピザ屋さんの開店に向けた学習をしている。お店には小学部の児童や保護者を招待し、お客さんに喜んでもらいたいという気持ちを持ち、メニューを話し合ったり、調理をしたりしている。

本単元では、開店時に必要となる接客を主に学習する。校外学習のインタビューを通して、お客様が笑顔になる接客が大切であることを学び、生徒もそれを意識した接客や店作りをしようとしている。そのために、接客のロールプレイを通して、友達同士で良かったところを伝え合い、それをまとめて「中2接客のポイント」を作り上げていく。接客のポイントは、生活単元学習の中で実践し、お客さんからの評価を受けて、お客さんとの関わり方の改善を繰り返していく。これらの活動を通して、接客の知識や技術だけでなく、友達の良さに気付いたりより良い関わり方が身に付いたりしてほしいと考える。

職業・家庭科と生活単元学習の学習内容が繋がることで学びが深まり、将来の働く自分をイメージしたり、働く楽しさを感じたりしながら学習に取り組む姿が期待できると考え本単元を設定した。

(3) 指導に当たって

- ・実際の接客場面を意識しながら学習に参加できるように、生活単元学習で制作した看板やユニフォームなどを準備する。
- ・職業・家庭科と生活単元学習のつながりを意識して学習できるように、それぞれの学習内容が記載された、学習予定表を用意する。
- ・自分や友達のよさに気付くことができるように、お互いの活動を見合ったり、評価したりする場面を設定する。
- ・自分の意見を友達に伝えたり、学習への参加意欲を高めたりするために、タブレット型端末を取り入れた活動を設定する。

3 目標

- (1) 校外学習やお店の人へのインタビューを通して、接客する上で大切なことが分かり、手順や態度に気を付けて接客をする。
【知識及び技能】
- (2) 自分や友達よさに気づき、より良い接客の仕方を考え、練習したり、友達に伝えたりする。
【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 働くことの楽しさや喜びを感じ、学んだことを他の授業や生活の場面で生かそうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

4 目標に対する評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①接客の仕事で大切なことが分かっている。 ②接客に必要な道具の使い方や手順を覚えている。	①より良い接客の仕方を考えて、ロールプレイに参加している。 ②友達の良いところに気づき、相手に伝えている。	①自分の得意な活動が分かり、他の授業や生活で生かそうとする気持ちをもつ。

5 単元計画（総時数20 本時17/20時間）

時数	学習内容	評価の観点			主なねらい
		知	思	主	
4	校外学習に行こう ・日程や内容を確認したり、〇〇屋さんのオープンに向けて、質問することを考えたりする。 ・職場見学や質問を通して気付いたことをまとめる。	①		①	・接客に関係する質問を考える。 ・マナーを守って見学や質問をする。 ・見学や質問したことを振り返り、接客で大切なことに気付く。
14 (本時) 13 / 14 (接客をしよう ・挨拶、スマイル編 ・身だしなみ編 ・清潔編 ・水出し編 ・片付け編 ・お客さんと店員役に分かれ、接客のロールプレイをする。 ・友達の良いところを伝えたり、アドバイスを受け入れて改善したりする。	① ②	① ②	①	・お客さんが笑顔になるにはどんな接客をすればいいのかを考えて、友達に伝えたり、ロールプレイで試したりする。 ・友達の良いところに気づき、伝えている。 ・動画を見て自分の接客を振り返ったり、友達のアドバイスを受け入れたりして、次のロールプレイに生かすことができる。
2	振り返り ・自分が成長したことや、課題をまとめる。 ・まとめたことを発表する。	①	②	①	・単元を通して自分の成長した点や今後の課題に気付く。 ・学習したことを生活単元学習や生活の中で生かす。

6 本時の計画

(1) 全体の目標

- ・ロールプレイや話し合いをとおして、友達の良いところを自分の接客に取り入れたり、自分の良さを再確認したりして、接客技術を向上させる。【知識及び技能】
- ・お客さんが笑顔になる接客を考えてロールプレイをしたり、友達のロールプレイを見て、良かったことを伝えたりする。【思考力・判断力・表現力等】

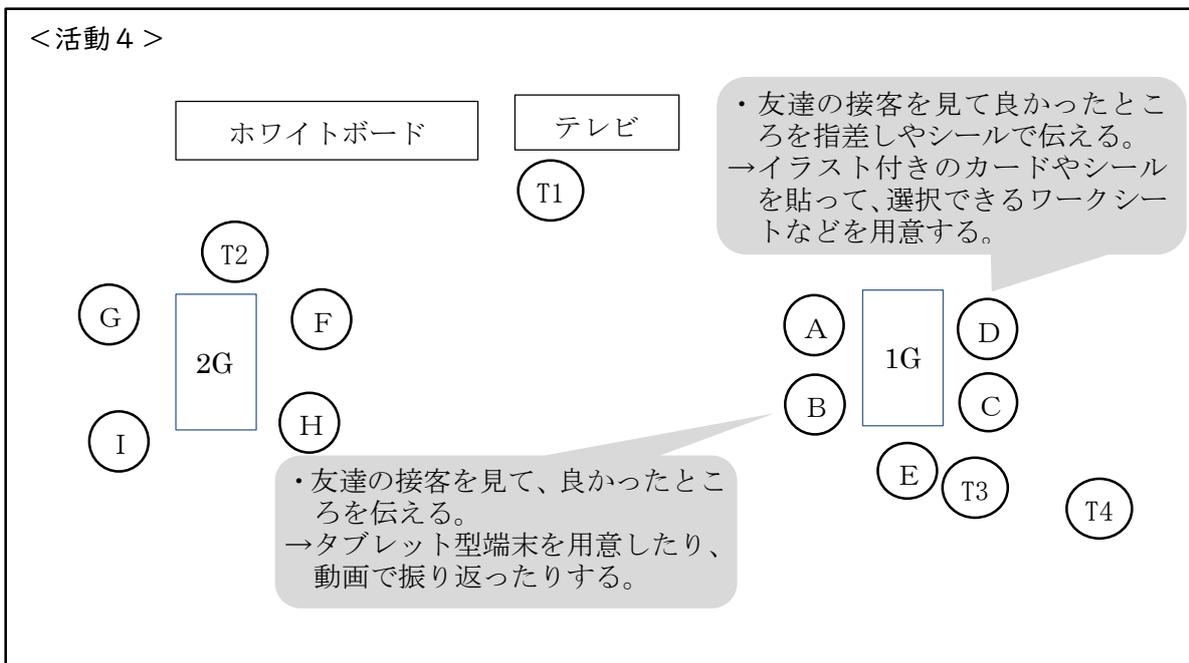
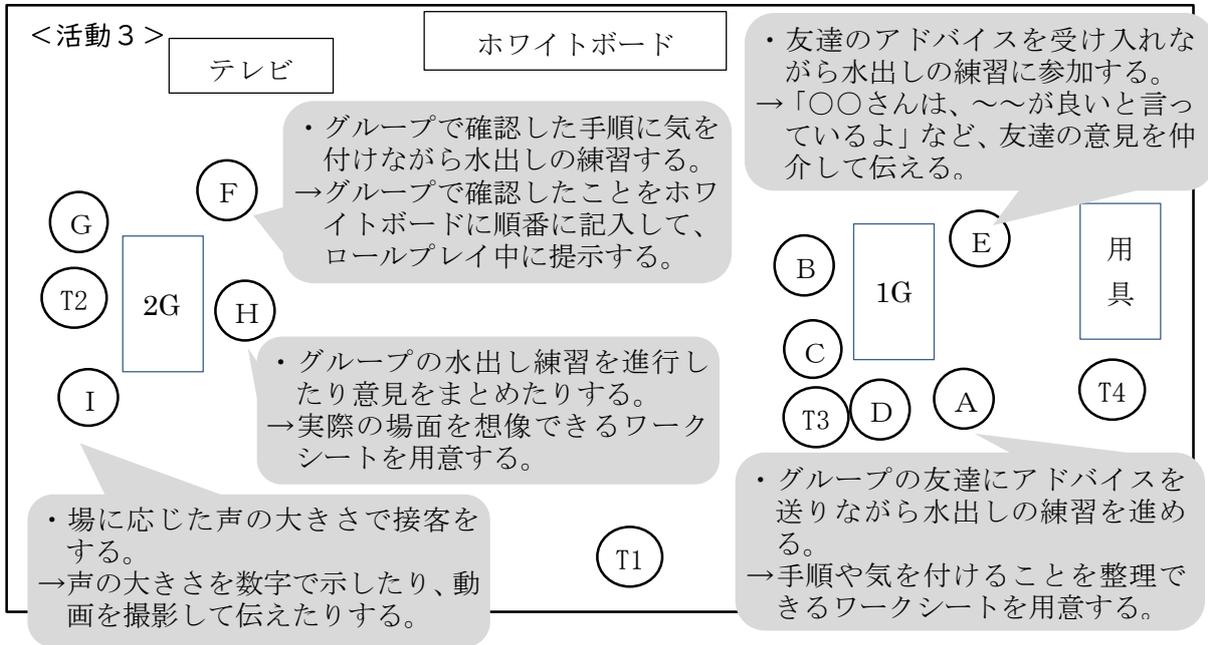
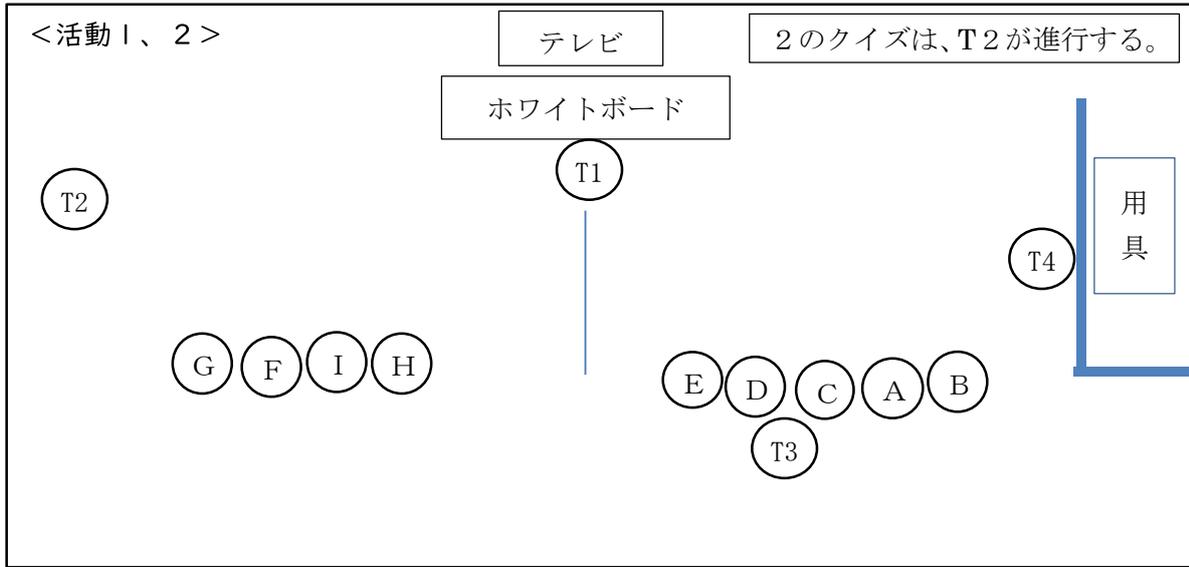
(2) 生徒の実態と目指す姿

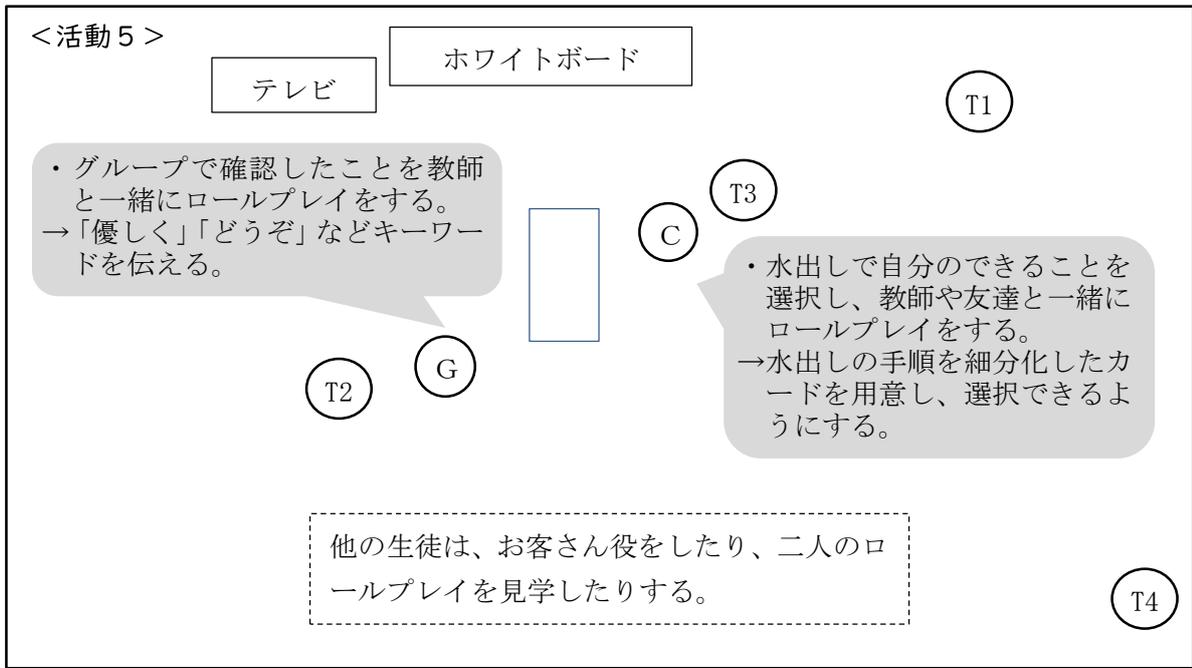
生徒	実態	単元を通して目指す姿
A ①グループ	相手に合わせた言葉遣いや態度で人と関わることができるようになってきた。飲食業に就労したい気持ちがあるが、清潔面に課題がある。	校外学習や接客のロールプレイを通して、清潔や身だしなみの大切さが分かり、自分で意識して日常生活で実践する。
B ①グループ	上手にできるか不安になり、活動に参加することが難しいこともあるが、友達の誘いを受けて、得意な活動には積極的に取り組める。	自分のできそうな役割を選択して、接客のロールプレイに参加したり、友達の良かったところに気付いて伝えたりする。
C ①グループ	自分から挨拶をすることは難しいが、教師がきっかけとなる言葉を話すと、それに続いて挨拶ができる。衛生面の課題が多い。	自分のできる活動を選択して接客の練習をしたり、友達の様子を見て全体の活動に参加したりして、飲食模擬店への期待感を高める。
D ①グループ	自分から発語することは少ないが、教師の促しに応じて発声したり、笑顔を見せたりする。周囲を見て、自分から動くことが難しい。	友達や教師の誘いを受け入れて、一緒に活動したり、友達の良かったことを指差しやシールを貼ったりして伝える。
E ①グループ	人前で話したり、演じたりすることが好きで接客の仕事に興味を持っている。周りの状況を見て行動することが苦手である。	より良い接客ができるように、グループの友達と相談したり、友達のアドバイスを受け入れたりして活動する。
F ②グループ	身だしなみを整えることを意識するようになってきた。場に応じた言葉遣いやアドバイスを素直に受け入れることに課題がある。	水出しや片付けの手順を覚えて、一人で取り組んだり、友達のアドバイスを受け入れたりして、より良い接客をしようとする。
G ②グループ	教師や友達を手本にして、同じ言葉で挨拶をすることができる。場面に適した気持ちや要求を単語で伝えることが増えてきた。	友達や教師と一緒にロールプレイに参加したり、接客のポイントとなる言葉に合わせて、水出しや片付けをしたりする。
H ②グループ	身だしなみに気を付けて生活している。友達の失敗に対して、厳しい口調で注意してしまうことが多いが、職業・家庭科の授業を通して、態度面が改善してきた。	グループのリーダーとして、話し合いを進めたり、友達の良いところに気付いて優しい言葉で伝えたり、アドバイスしたりする。
I ②グループ	自信がもてずに消極的な姿も多いが、事前に練習をすることで人前でも話したり、活動したりできる。言葉遣いに課題がある。	相手に聞こえる声の大きさや、場に応じた言葉遣い、態度で接客のロールプレイに参加したり、友達との良かったところを発表したりする。

(3) 学習過程

時間	学習活動 めあて 振り返り	指導上の留意点等 ・教師の支援 ○予想される生徒の反応 評価基準
5分	1 本時の学習内容とめあてを知る。 めあて お客さんが笑顔になる 水出しをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・P T A授業参観でお茶出しをした際のことについて、思い出せるように、保護者からの感想を紹介する。 ・めあてを意識できるように「自分がお客さんだったら、どんな接客をされたら笑顔になるのか」と発問する。 ○言葉遣いが良い、優しく置くなど。
5分	2 接客クイズをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に期待感もてたり、学習に生かされたりするように、接客に関連するクイズを出題する。(T 2) ・答えを選んだ理由を生徒に質問したり、正解、不正解の理由を説明したりする。
3分	3 スマイルチェックをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「笑顔」を意識して学習に取り組めるように、タブレット型端末のアプリケーションを使用して、スマイルチェックをする。
22分	4 お客さん、店員の役をする。 (1) グループで話し合い、練習 (2) 代表のロールプレイ テーマ：水出し ・グループのポイント紹介 ・代表の実演 ・感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイで気を付けることをグループで共有できるように、リーダーを中心に確認や練習する時間を設定し、出てきた意見を簡単なキーワードにしてタブレット型端末でまとめる。 ○友達が出した意見をBやIが入力して、グループで確認する。 ・C、D、Gが自分の意見を伝えられるように、イラストが描かれたカードを用意する。 ○教師の問いかけに対して、カードを指差す。 ・グループで確認したことを実際に試したり、友達の良いところに気付いたりするように、店員役とお客さん役に分かれてロールプレイをし、感想を伝え合う。 ・自分や友達の接客を振り返ることができるように、タブレット型端末で録画する。(T 4) ・グループで話し合った内容を意識してロールプレイができるように、まとめたことをテレビに写す。 ・代表の生徒が、自分の良かったところに気付けるように、お客さん役の生徒からも感想を発表してもらおう。
10分	5 接客のポイントを作成する。 ・お互いの良かったところを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・良かったところを全体で共有できるように、必要に応じてビデオを流したり、生徒の発言を補足したりする。(T 1) (T 4) ○「〇〇さんの～なところが良かったです」と具体的に話したり、自分が気を付けたことを話したりする。
5分	6 振り返りをする。 振り返り 水出しのポイントは。	<ul style="list-style-type: none"> ・採用した水出しのポイントを振り返ることができるように、CとGが実際に行う場面を設定する。 評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが笑顔になることを意識して接客をしたり、友達の良いところに気づき、伝えることができたか。【ロールプレイの様子、発言】

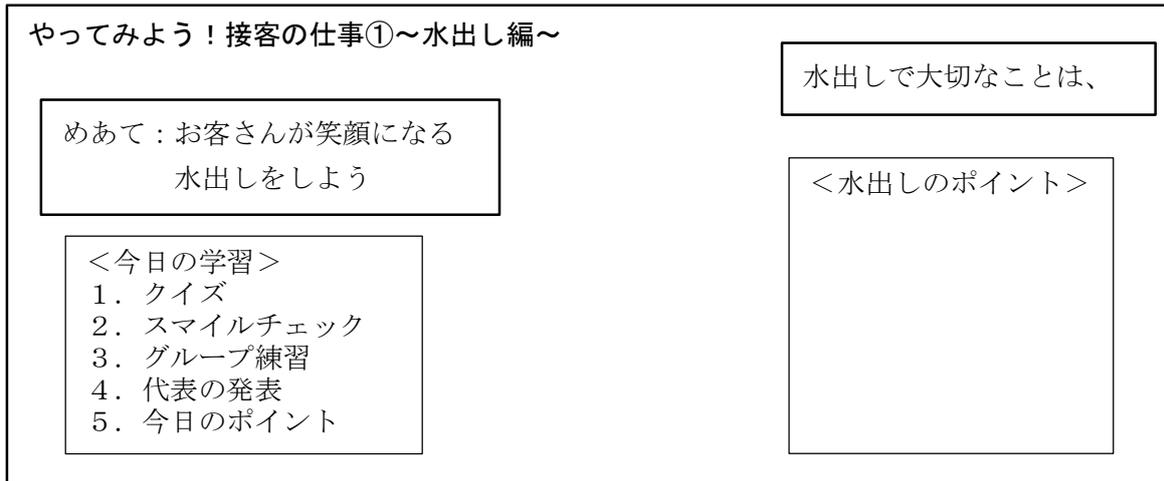
(4) 配置図 ・個別のねらい →手立て





(5) 板書計画

<ホワイトボード>





中学部2年

職業・家庭科 やってみよう！接客の仕事 × 生活単元学習 やってみようパート2 ピザ屋さん開店



生徒の思いや願い

未来へのスケッチ作成
 「働いてお金を稼ぎたい」
 「おいしいものが食べたい」
 「お母さんのような役割をしたい」



生徒の実態

- ・相手の気持ちや状況を考えて発言することが苦手
- ・自分の意見を強引に通そうとする
- ・相手のことを思いやる発言が徐々に増えてきた



POINT 教師と生徒との対話を大切に
 して授業づくりに生かす



教師の願い・ねらい

- ・全員の生徒が興味のある調理をさせたい
- ・友達の良さに気付いてほしい
- ・友達と良い関わりをしてほしい
- ・働く自分をイメージしてほしい
- ・働く楽しさを感じてほしい



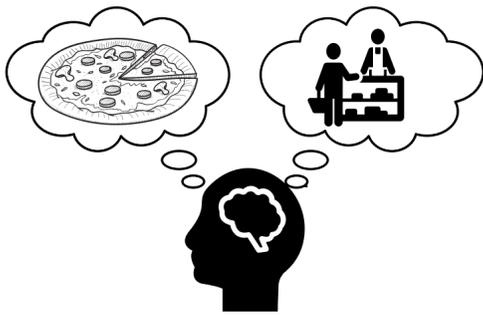
授業デザインミーティング5月実施

- ・得意な役割を設定して自信をもって活動する
- ・本物を見学してイメージをもつ
- ・友達と関わる必然性のある活動の設定をする
- ・調理の基本を押さえて指導する
- ・他教科と関連させながら取り組む

職業・家庭科 やってみよう！接客の仕事



生活単元学習 やってみようパート2 ピザ屋さん開店



- ・生徒の興味・関心の高い調理をしたいからあげづくり、フライドポテトづくり、パスタづくり、ピザづくり

生徒の話合いからピザを作ることに決定！

校外学習 地元のピザ屋さんへ

- ・接客の仕方をインタビューする
- ・お店の雰囲気を知る



- ・ピザの作り方を知る
- ・お店のピザを食べる



接客をしよう

- ・挨拶、スマイル編
- ・身だしなみ編
- ・清潔編
- ・水出し編
- ・片付け編



お客さんと店員に分かれてロールプレイをする

ピザ屋の開店に向けて学習スタート

- ・看板とバンダナを作りたい
- ・お揃いのエプロンを作りたい
- ・ピザ生地を作りたい ソースを作りたい



- ・ピザを作って疑問に思ったことをまとめ手紙作成
- ・地元のピザ屋さんが学校に来校し、ピザ作りについて学ぶ予定

接客のポイントをまとめピザ屋開店につなげたい

お揃いのエプロンをデザインして制作



- ・中学部の友達を招待
- ・小学部の後輩を招待

